

令和6年9月

|      |     |   |      |     |
|------|-----|---|------|-----|
| 令和6年 | 7月  | ～ | 9月期  | 実績  |
| 令和6年 | 10月 | ～ | 12月期 | 見通し |

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

# 目 次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 主要景況項目の動き.....     | 2  |
| 業況天気図 .....        | 3  |
| 全産業の推移 .....       | 4  |
| 製造業の推移 .....       | 7  |
| 建設業の推移 .....       | 11 |
| 小売業の推移 .....       | 15 |
| サービス業の推移 .....     | 19 |
| 全産業の過去データの推移 ..... | 23 |
| * 平成15年1月以降        |    |
| 〔集計資料〕             |    |

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

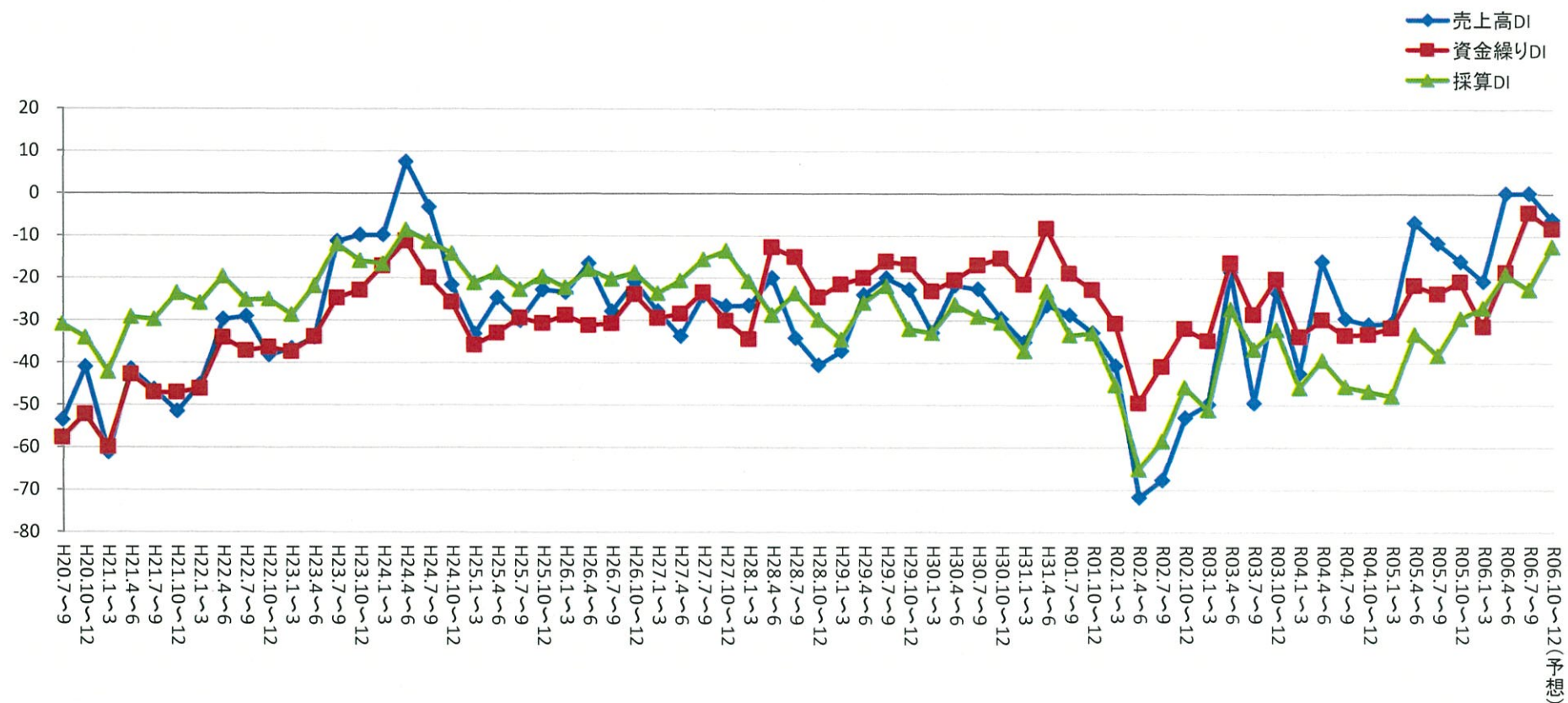
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、 $D・I = 50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

〔岩手県 産業全体〕

# 主要景況項目の動き ―前年同期比―





# 業 況 天 気 図

| 期 間<br>業 種 | 令和4年<br>10～12月                                                                          | 令和5年<br>1～3月                                                                            | 4～6月                                                                                    | 7～9月                                                                                       | 10～12月                                                                                      | 令和6年<br>1～3月                                                                              | 4～6月                                                                                        | (今期)<br>7～9月                                                                                | (見通し)<br>10～12月                                                                            |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 製 造 業      | <br>曇  | <br>曇  | <br>曇  | <br>雨   | <br>曇    | <br>曇  | <br>薄 曇  | <br>薄 曇  | <br>薄 曇 |
| 建 設 業      | <br>雨  | <br>雨  | <br>曇  | <br>雨   | <br>曇    | <br>曇  | <br>晴    | <br>薄 曇  | <br>薄 曇 |
| 小 売 業      | <br>雨  | <br>曇  | <br>曇  | <br>薄 曇 | <br>雨    | <br>雨  | <br>曇    | <br>曇    | <br>薄 曇 |
| サ ー ビ ス 業  | <br>雨 | <br>曇 | <br>晴 | <br>晴  | <br>薄 曇 | <br>曇 | <br>薄 曇 | <br>薄 曇 | <br>曇  |

| 売 上 高 D I | 100.0<br>～30.1                                                                             | 30.0<br>～10.1                                                                            | 10.0<br>～△10.0                                                                               | △10.1<br>～△30.0                                                                            | △30.1<br>～△100.0                                                                           |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 表 示       | <br>快 晴 | <br>晴 | <br>薄 曇 | <br>曇 | <br>雨 |

## 全産業の推移

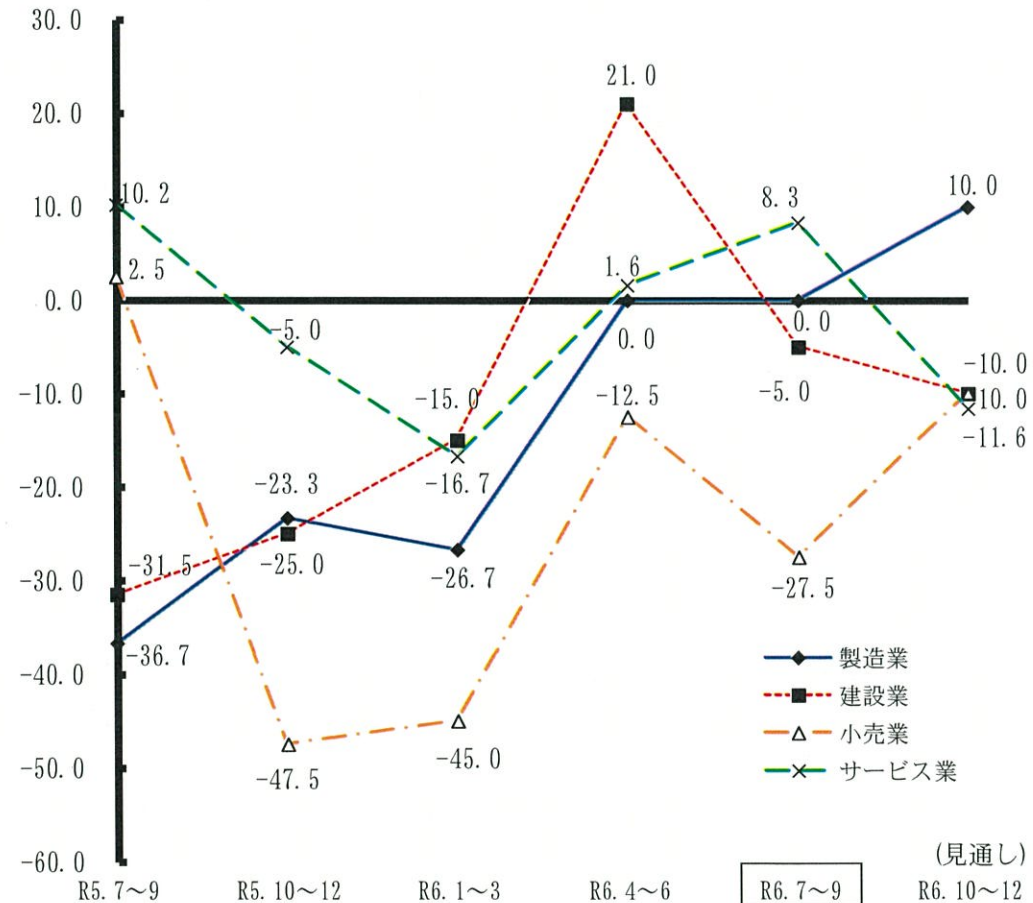
### 売上高

サービス業の売上高D・Iが2期連続改善  
建設業、小売業は悪化に転じる

今期の売上高D・Iは、サービス業において2期連続の改善となりましたが、建設業、小売業は悪化に転じました。建設業は前期7年ぶりにプラス域に到達していましたが、再びマイナス域まで悪化しています。サービス業は6.7ポイントの上昇により8.3まで改善、製造業は前期と横ばいとなっています。建設業は26.0ポイントの大幅な減少により△5.0まで悪化、小売業も15.0ポイントの減少により△27.5まで悪化しています。

来期は、製造業、小売業が改善し、製造業はプラス域に達することが見込まれるものの、2期連続して改善傾向にあったサービス業は再び悪化に転じ二桁のマイナス域となり、また、建設業も今期に引続き悪化する見通しとなっています。

※建設業の売上高は完成工事高



## 全産業の推移

### 採 算

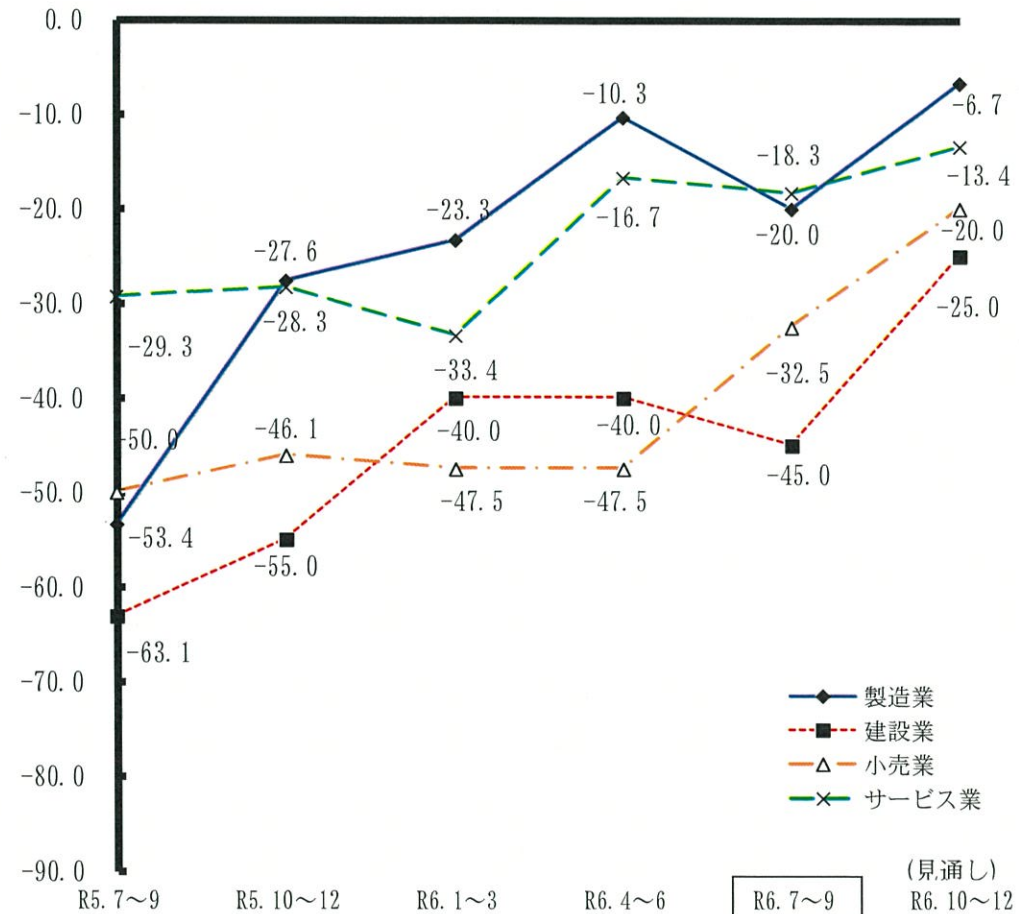
小売業において採算D・Iが改善  
製造業、サービス業、建設業は悪化

今期の採算D・Iは、小売業が大幅な改善となりました。他方、製造業、サービス業、建設業は悪化に転じています。

小売業は15.0ポイント上昇して△32.5まで改善、他方、製造業は9.7ポイント減少して△20.0まで悪化しました。サービス業も1.6ポイントと小幅ながら減少して△18.3まで悪化、建設業も5.0ポイント減少して△45.0まで悪化して低い水準にとどまっています。

来期は、小売業、製造業、建設業が大幅に改善、サービス業も改善に転じ、全業種において改善することが見込まれています。

※採算は各業種とも経常利益





## 全産業の推移

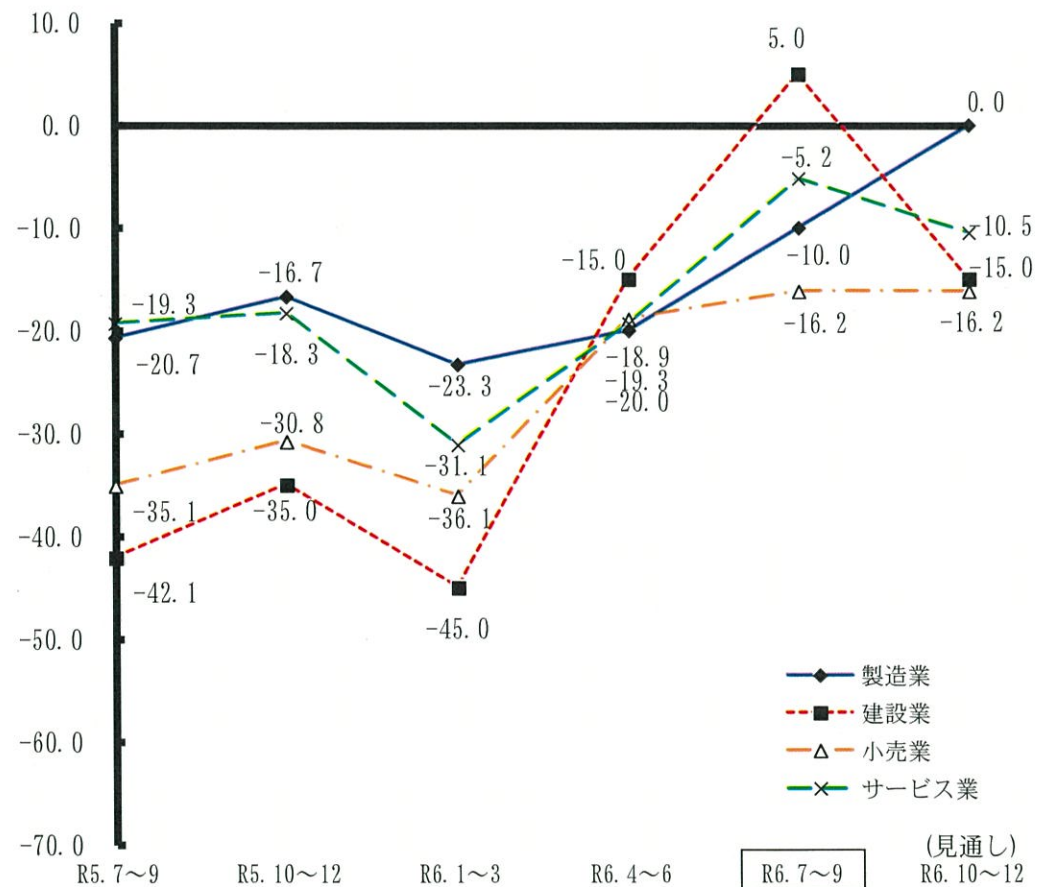
### 資金繰り

全業種において資金繰りが2期連続の改善  
建設業は二桁の上昇によりプラス域へ到達

前期、全業種において改善していた資金繰りD・Iは、今期も引き続き全業種において上昇し、2期連続の改善となりました。

前期大幅に上昇した建設業は今期も引き続き上昇し、20.0の大幅な増加により5.0となりプラス域に到達しています。サービス業は14.1ポイント増加して△5.2まで改善、製造業も10.0ポイント上昇して△10.0まで改善、小売業も2.7ポイントと小幅ながら上昇して△16.2までそれぞれ改善しています。

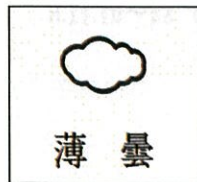
来期は、製造業においては引き続き資金繰りD・Iの改善が見込まれ、小売業は今期と横ばいとなる見込みであるものの、今期大幅に改善した建設業が大幅な悪化に転じるほか、サービス業も悪化に転じることが予想されています。



# 製造業の推移

## 売上高

<今 期>

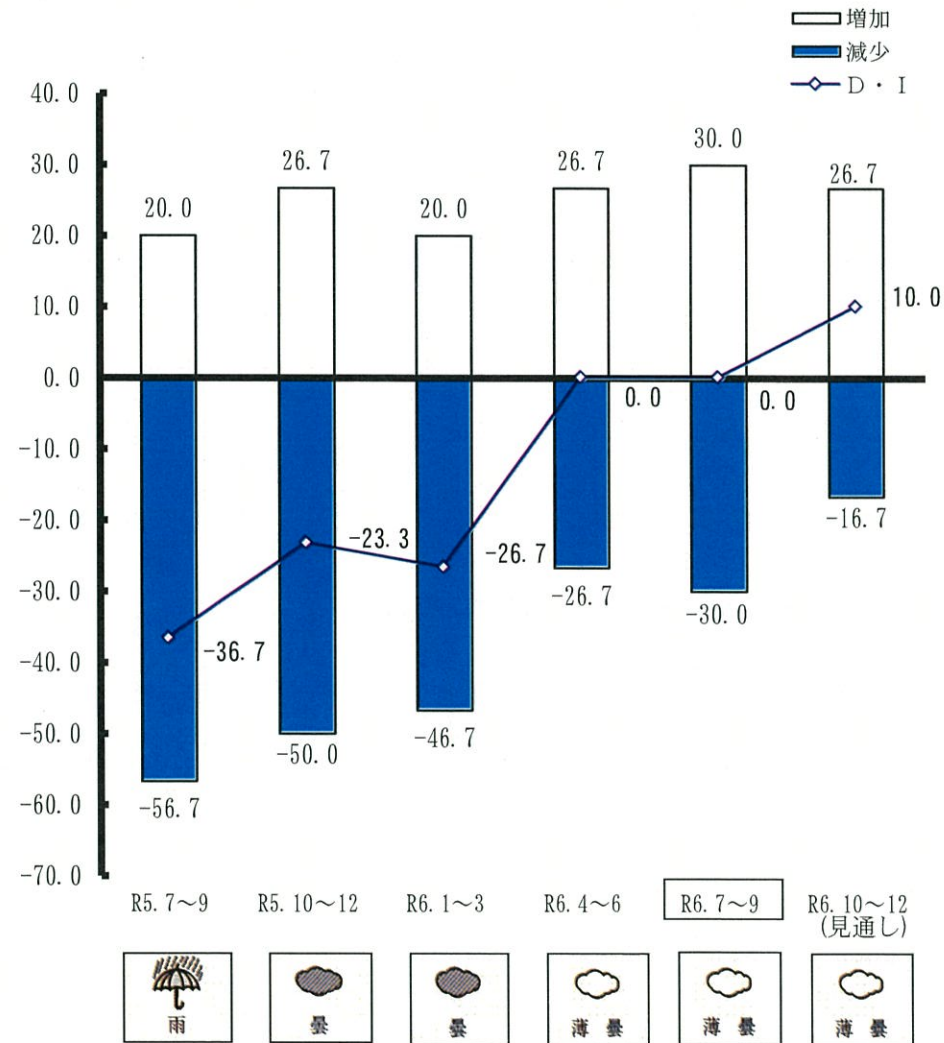


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が3.3ポイント増加したものの、売上高減少企業の割合が3.3ポイント増加したことにより売上高D・Iは前期と横ばいにとどまり、0.0となっています。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が減少するものの、売上高の減少を予想する企業割合が大幅に減少することから、売上高D・Iは改善し、プラス域に到達する見通しです。





# 製造業の推移

## 採算

<今 期>

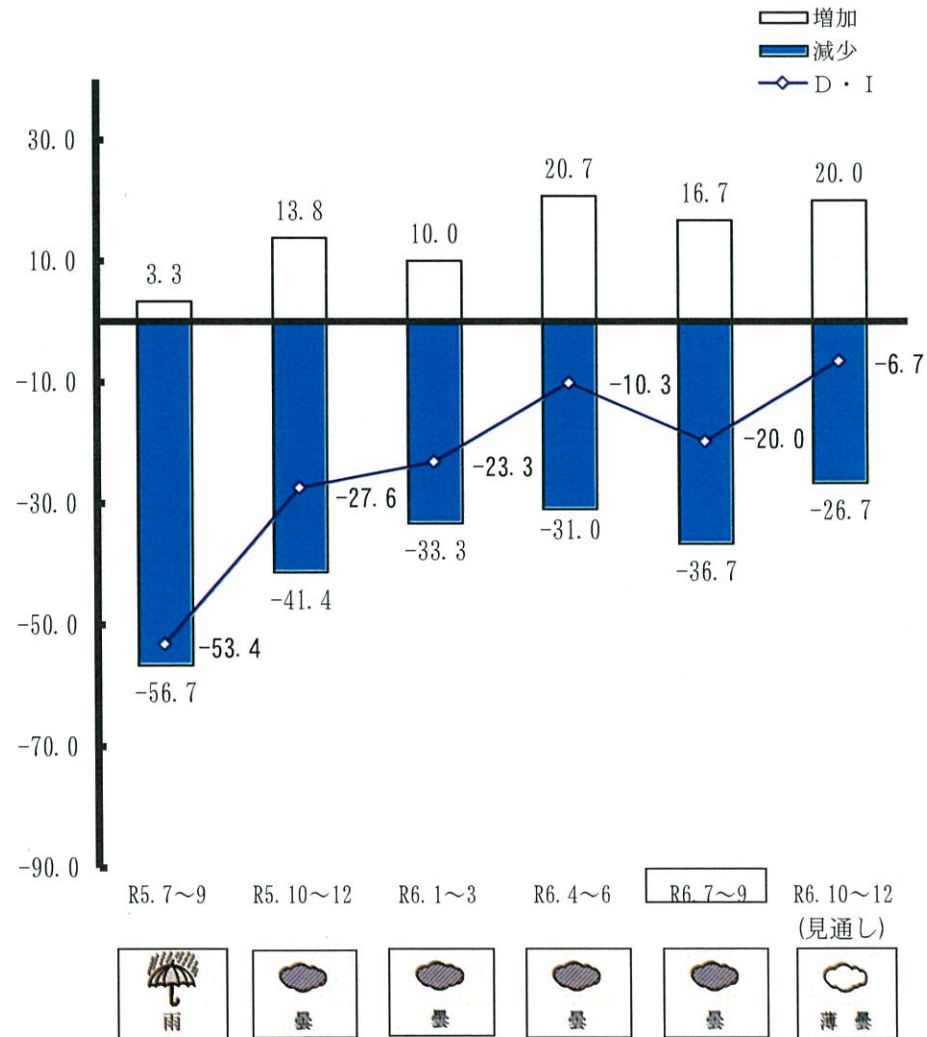


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が4.0ポイント減少し、採算が悪化した企業の割合が5.7ポイントの増加となったことから、採算D・Iは9.7ポイントの減少となり、△20.0まで悪化しました。

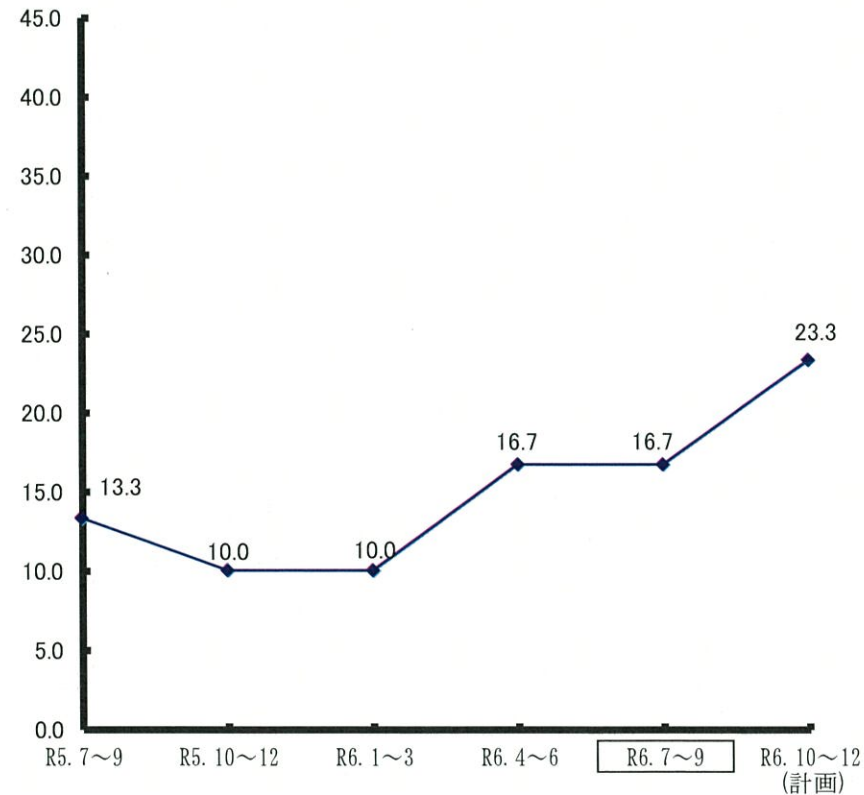
来期は、採算の改善を予想する企業が増加に転じ、採算の悪化を予想する企業も減少となることから、採算D・Iは、上昇することが見込まれます。景況天気図も曇りから薄曇りへと変化することが予想されています。



## 設備投資

今期製造業において設備投資を実施した企業数の割合は前期と横ばいの16.7となりました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合が大幅に増加し、23.3まで上昇することが予想されています。



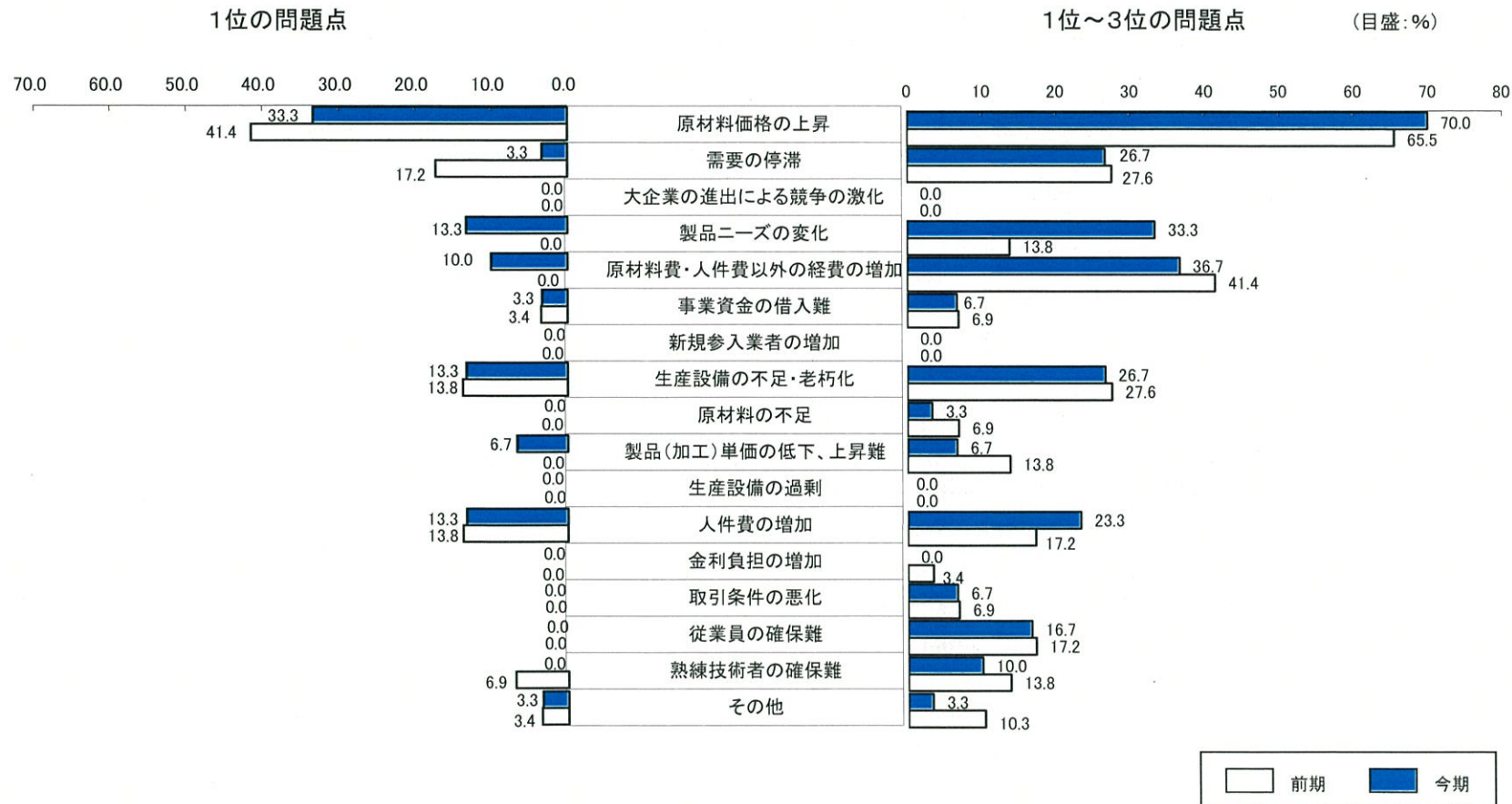
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

# 製造業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)





# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>



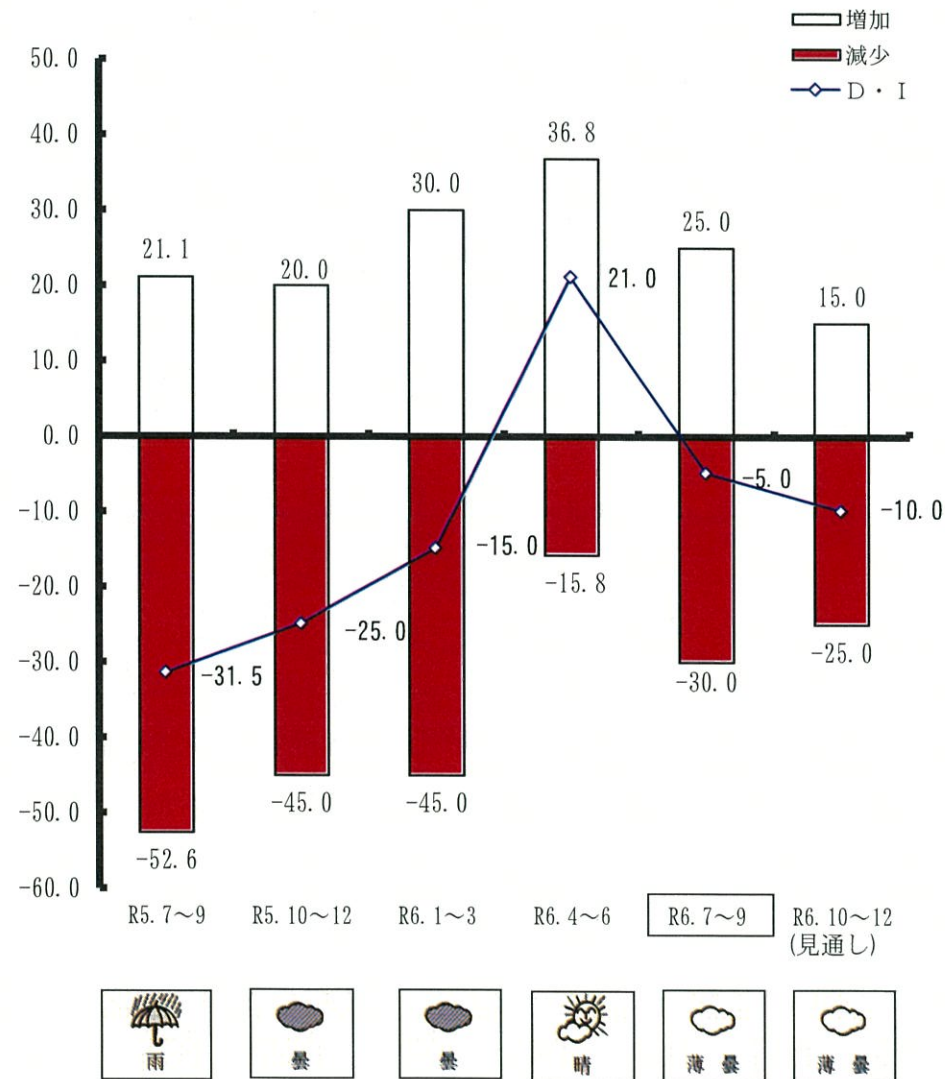
<来期見通し>



建設業の売上高D・Iは、前期まで3期連続して上昇し、二桁のプラス域に達していましたが、今期は、売上高が増加した企業割合が11.8ポイント減少し、売上高が減少した企業割合が14.2ポイントの大幅な増加となったため、売上高D・Iは低下し、△5.0まで悪化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が今期に引続き減少するものの、売上高の減少を予想する企業の割合が減少することから、売上高D・Iは小幅な低下にとどまることが予想されています。

※建設業の売上高は完成工事高



# 建設業の推移

## 採算

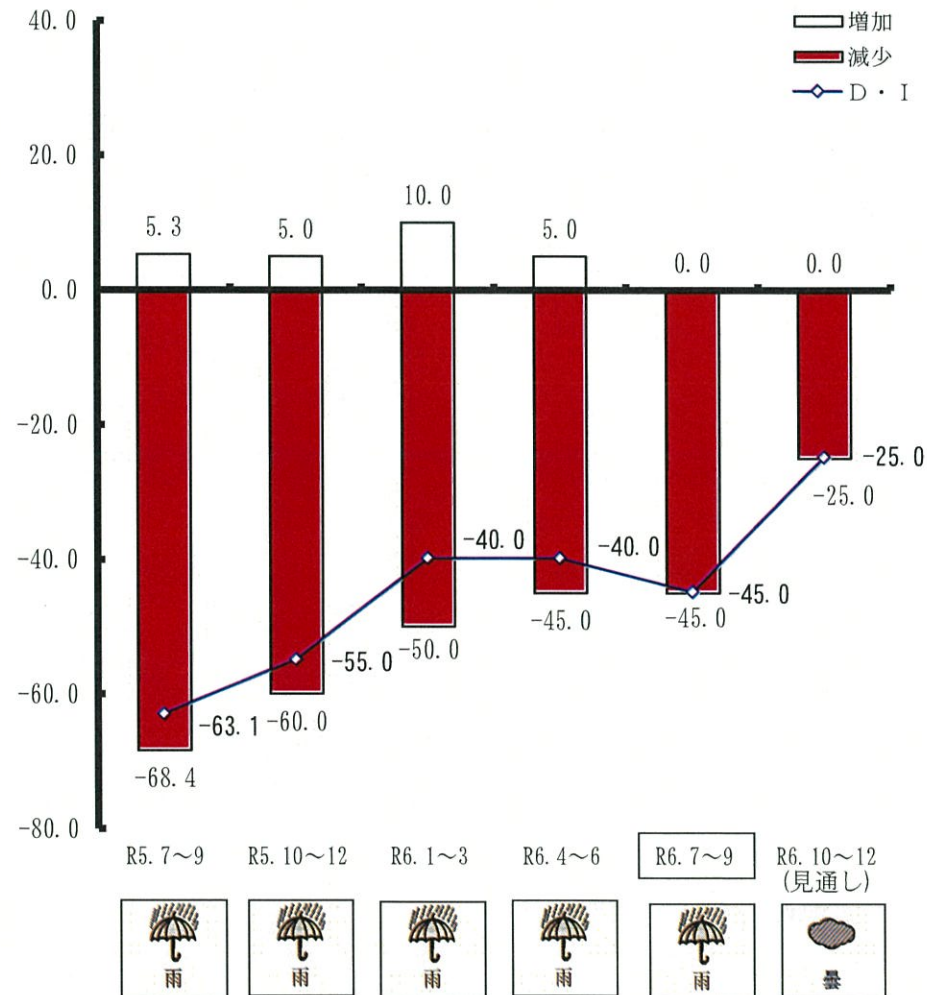
<今 期>

<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が、5.0ポイント減少してゼロとなり、採算の悪化を挙げた企業の割合が前期と横ばいとなったことから、採算D・Iは低下し△45.0の低い水準ににとどまりました。

来期は、採算の改善を予想する企業は今期と横ばいのゼロとなるものの、採算の悪化を予想する企業が減少することから、採算D・Iは改善となり、景況天気図も雨から曇へと変化することが予想されています。

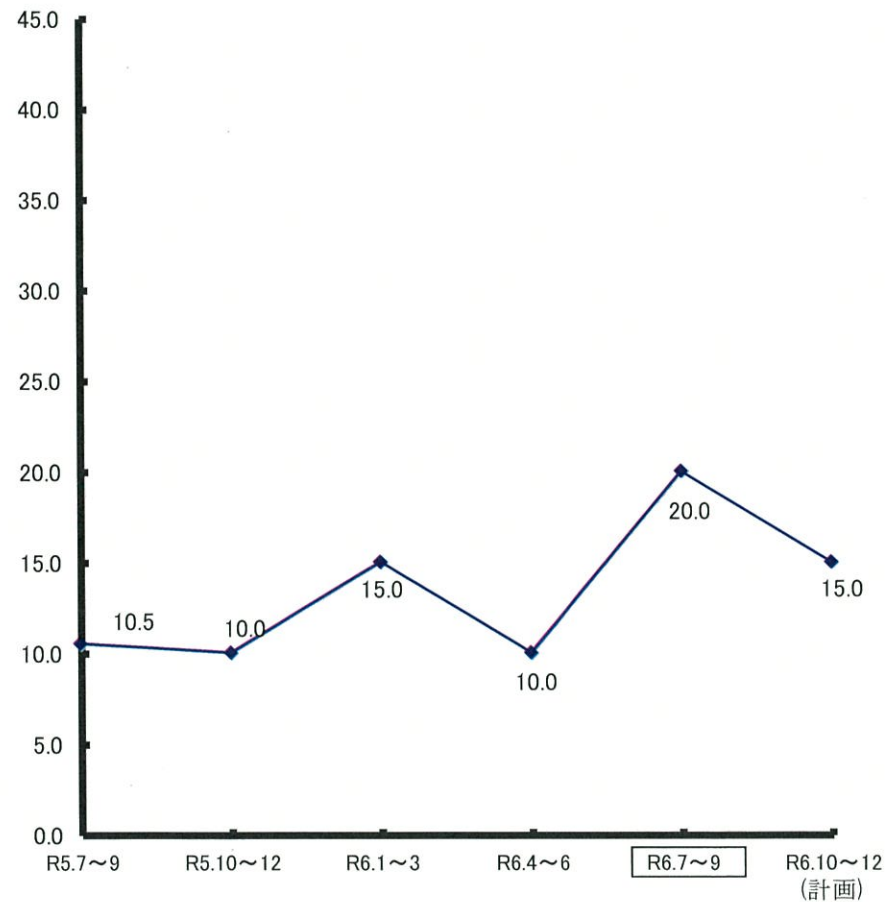


## 設備投資

建設業において設備投資を実施した企業数の割合は、前期から10.0ポイント増加し20.0となりました。

来期は設備投資を実施する企業数の割合は5.0ポイント減少し15.0程度となることが予想されます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。





# 建設業の推移

## 経営上の問題点

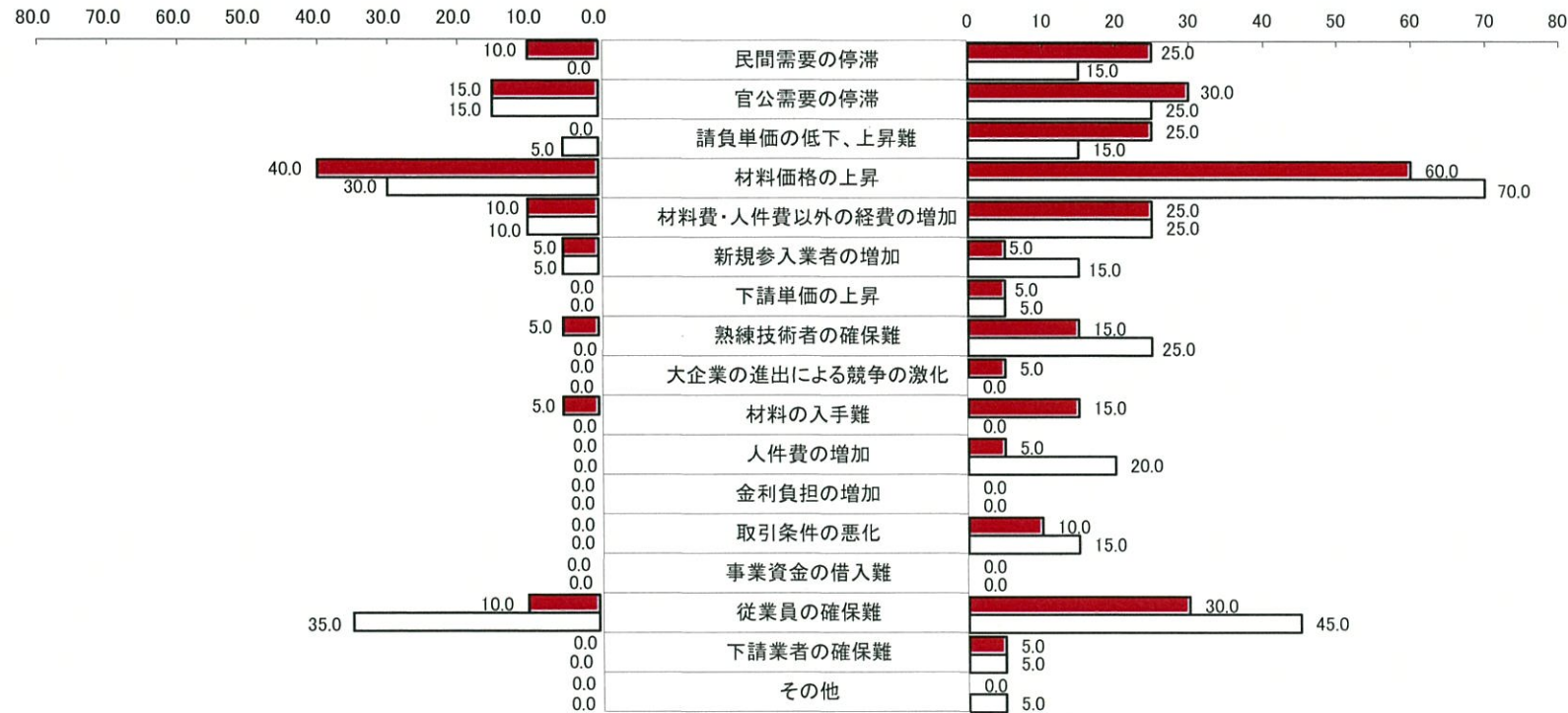
岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

1位～3位の問題点

(目盛: %)



# 小 売 業 の 推 移

## 売 上 高

<今 期>

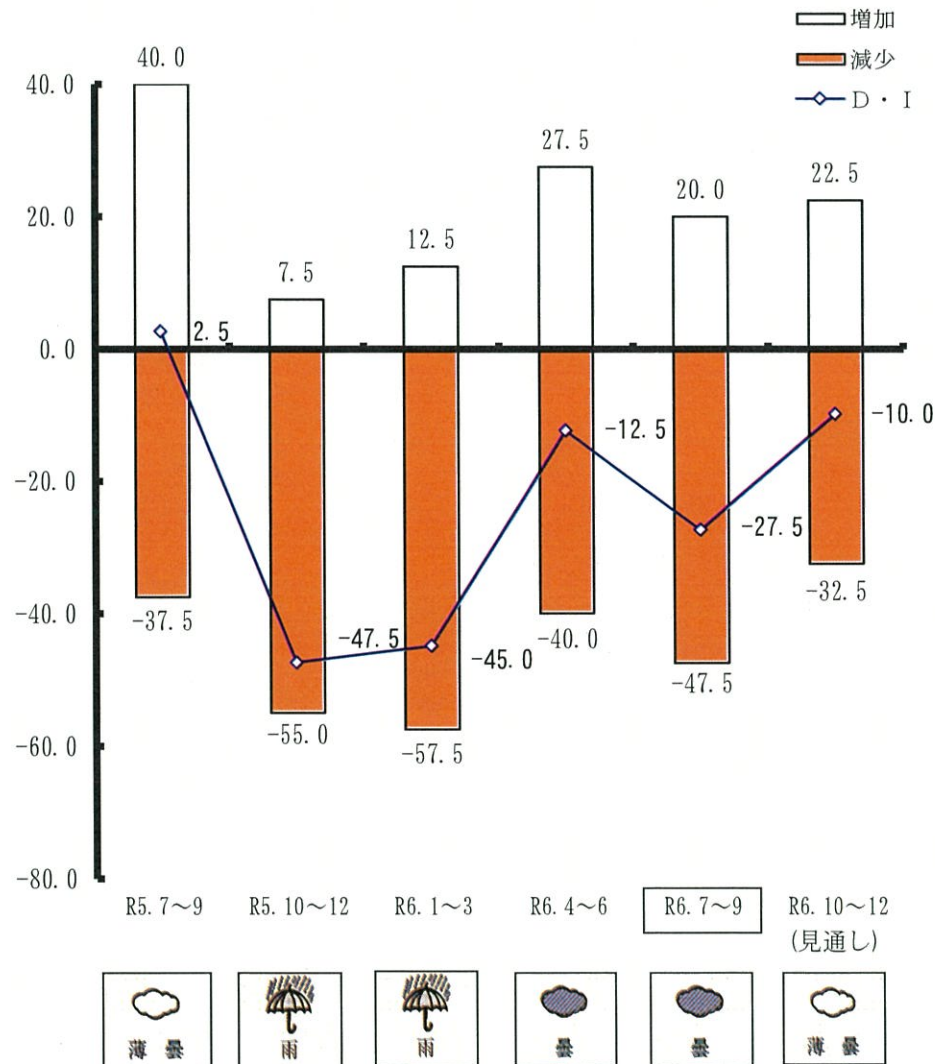


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が7.5ポイント減少し、売上高減少企業の割合が7.5ポイント増加したことにより、売上高D・Iは15.0ポイントの低下となり△27.5まで悪化しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が増加に転じ、売上高減少を予想する企業割合が減少することから、売上高D・Iは大幅な回復となる見通しです。



# 小 売 業 の 推 移

## 採 算

<今 期>

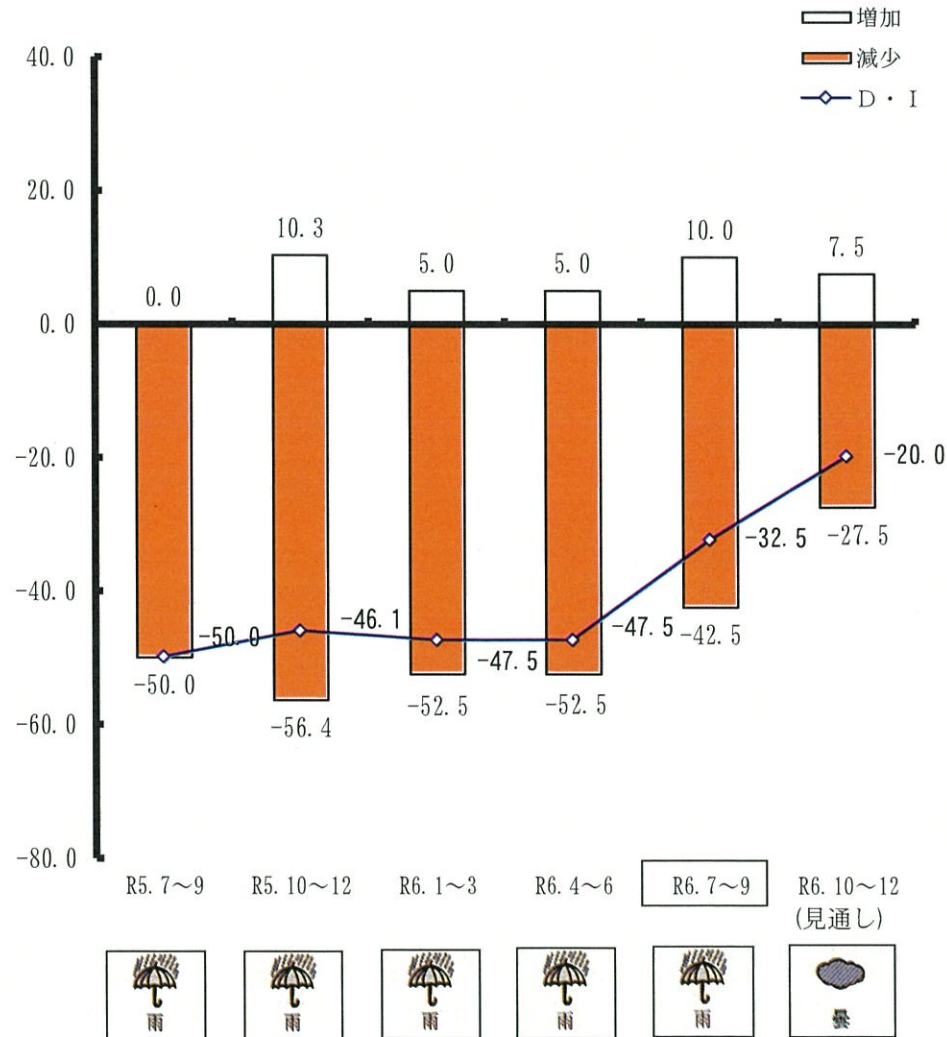


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が5.0ポイント増加し、採算が悪化した企業割合が10.0ポイント減少したことから、採算D・Iは15.0ポイント上昇し、△32.5まで回復しました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が減少するものの、採算の悪化を予想する企業割合が減少することから、採算D・Iは2期連続の改善となる見通しです。



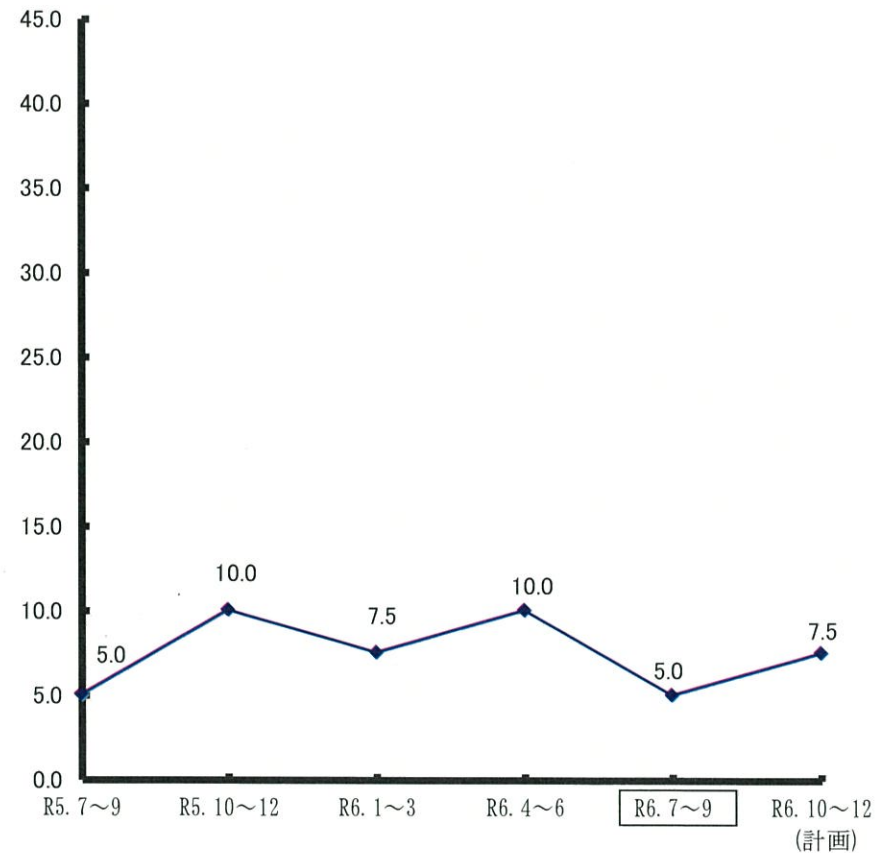


## 小 売 業 の 推 移

### 設 備 投 資

今期、小売業において設備投資を実施した企業数の割合は前期より5.0ポイント減少して5.0の低い水準にとどまりました。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は2.5ポイント増加し、7.5となる見通しです。



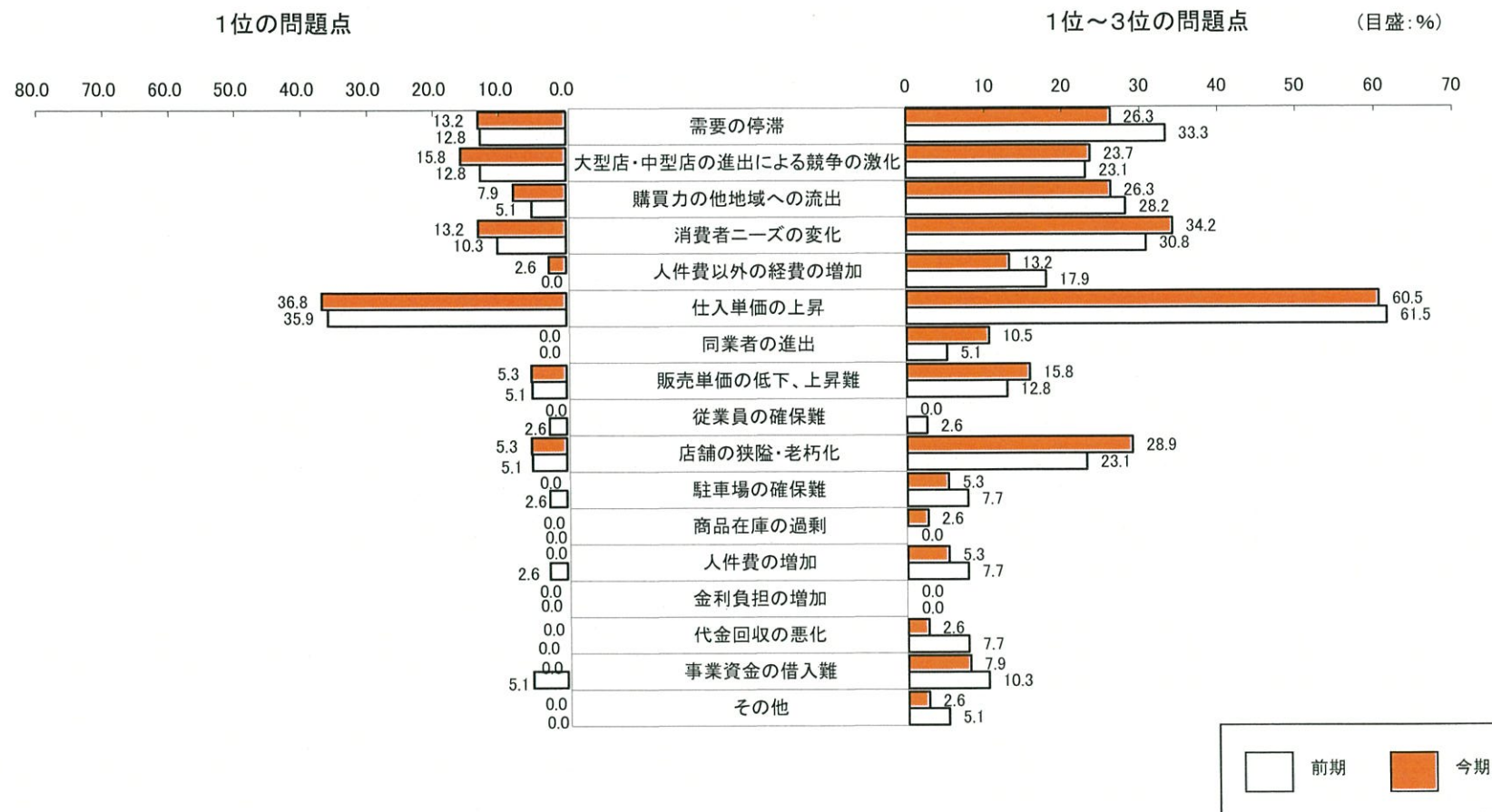
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

# 小売業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



# サービス業の推移

## 売上高

<今 期>



薄曇

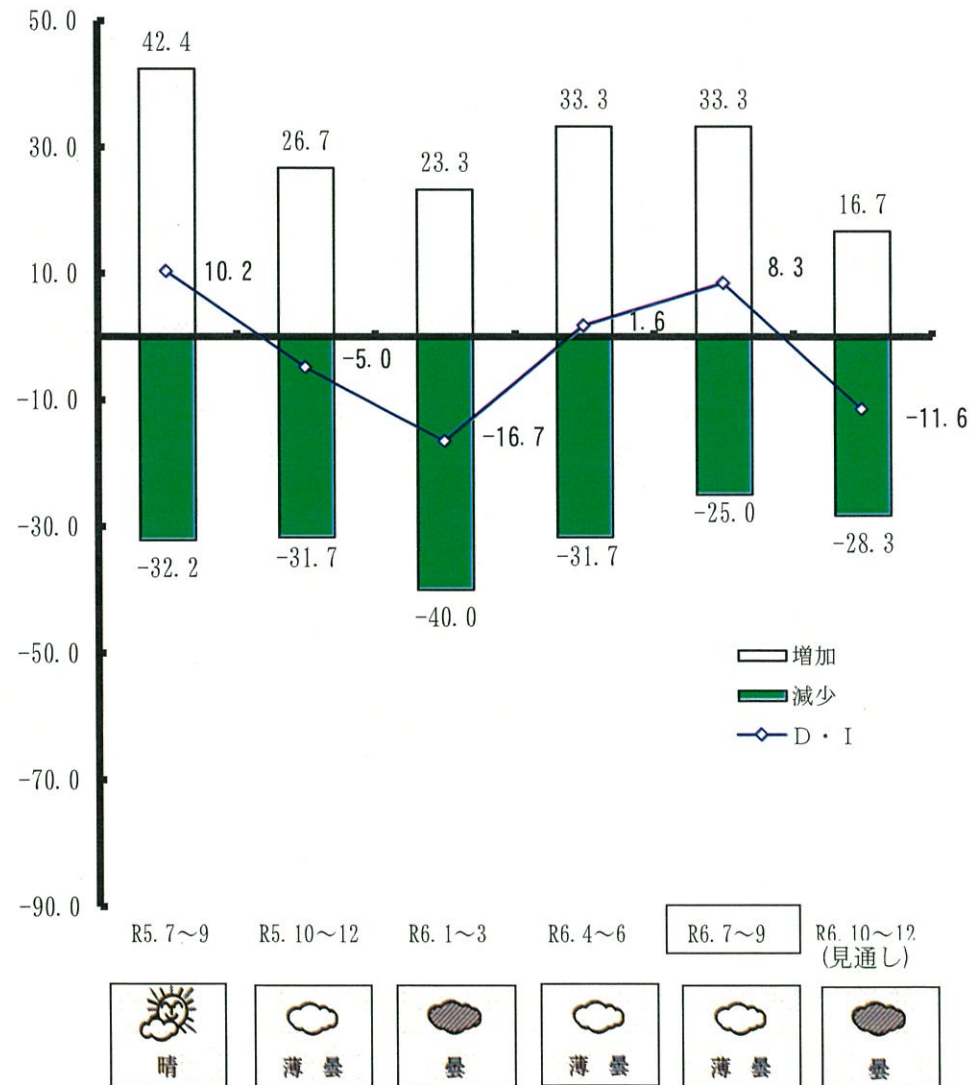
<来期見通し>



曇

今期は売上高増加企業の割合は前期と横ばいにとどまったものの、売上高減少企業の割合が6.7ポイント減少したことにより、売上高D・Iは6.7ポイント増加して8.3まで回復しました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合が大幅に減少、売上高減少を予想する企業割合が増加することから、売上高D・Iは悪化に転じ、再びマイナス域まで低下することが予想されています。





# サービス業の推移

## 採算

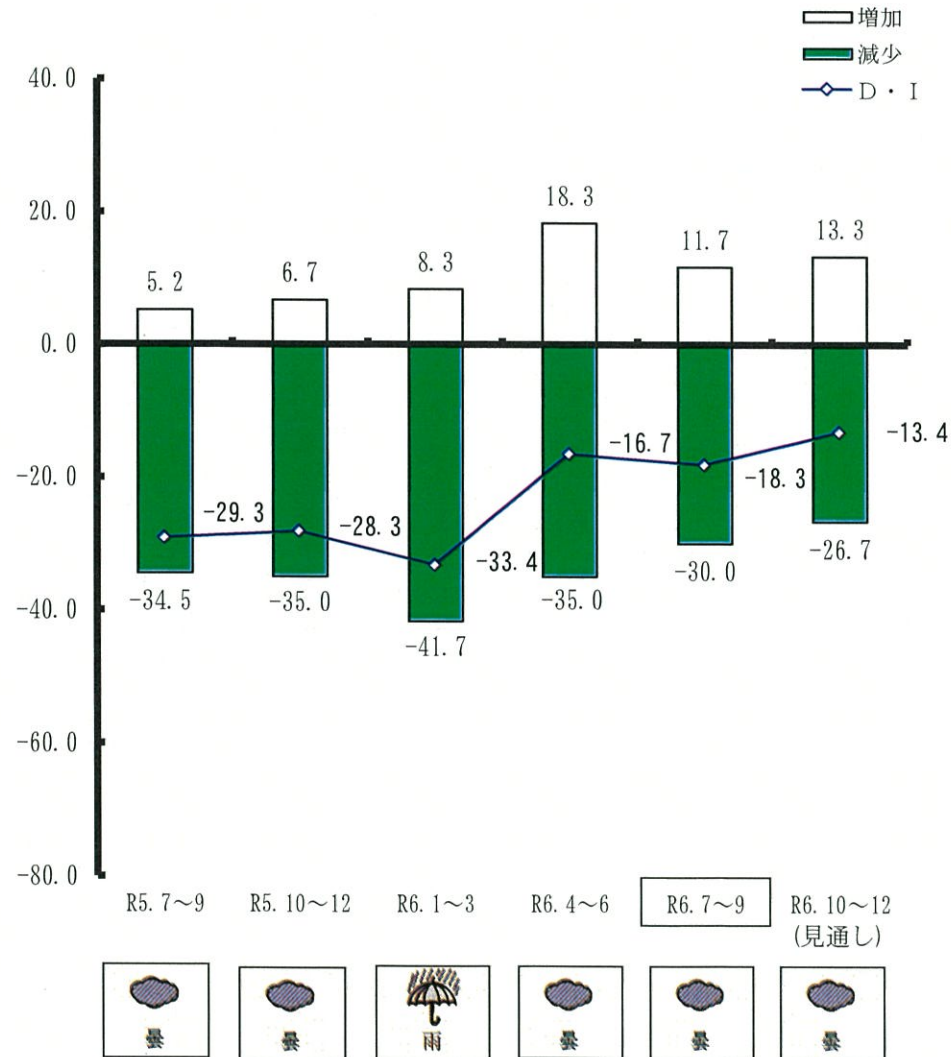
<今 期>

<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が6.6ポイント減少し、他方、採算が悪化した企業割合が5.0ポイント減少したことにより、採算D・Iは低下し、△18.3まで僅かに悪化しました。

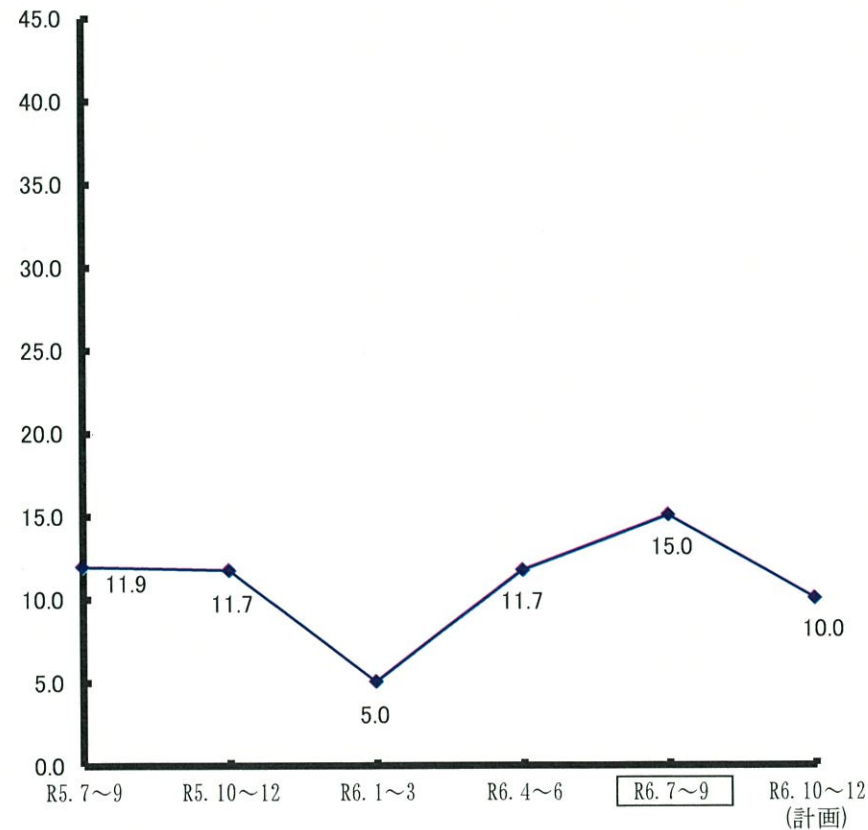
来期は、採算の改善を予想する企業割合が増加し、採算の悪化を予想する企業割合が減少することから、採算D・Iは上昇に転じ、△13.4まで改善する見通しです。



## 設備投資

今期設備投資を実施した企業数の割合は2期連続の増加となり、15.0となっています。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は減少に転じ、10.0程度まで減少する見通しです。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

# サービス業の推移

## 経営上の問題点

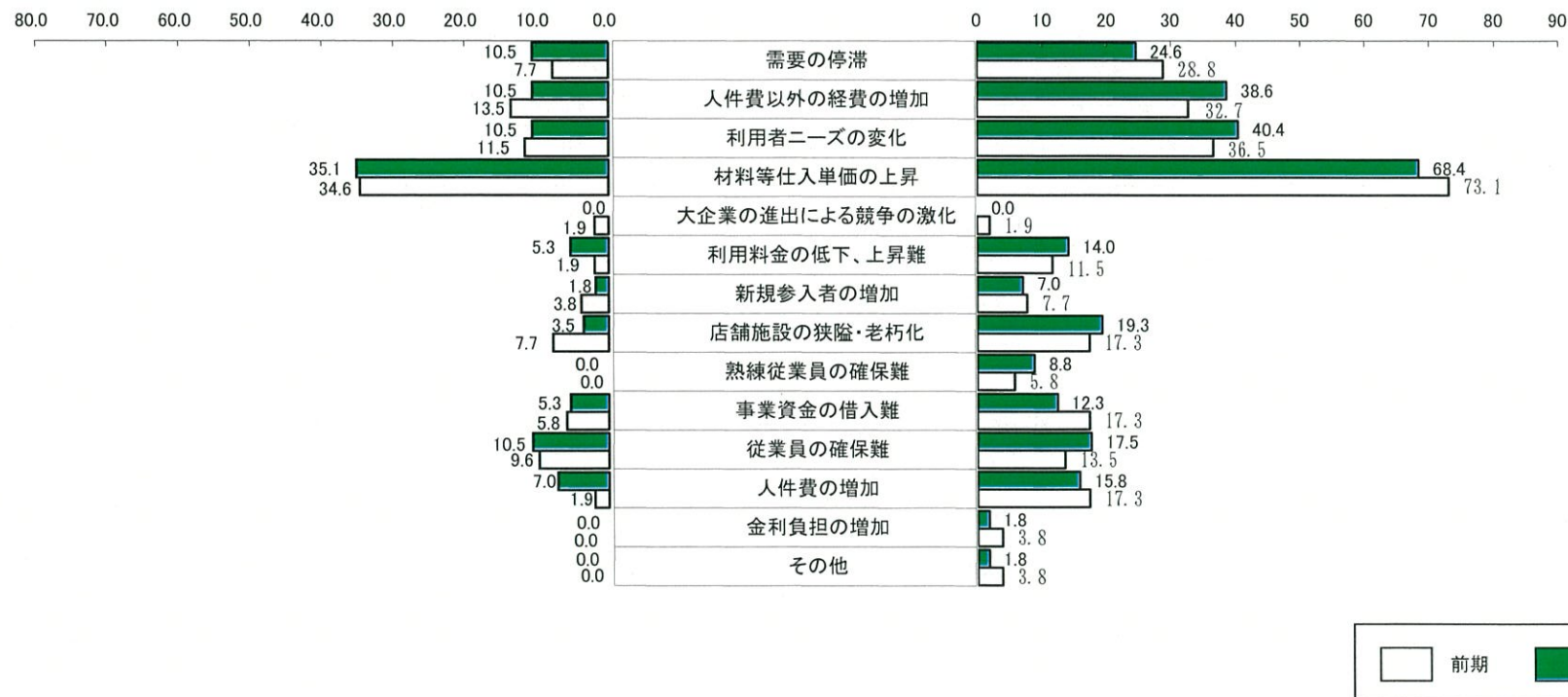
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

1位～3位の問題点

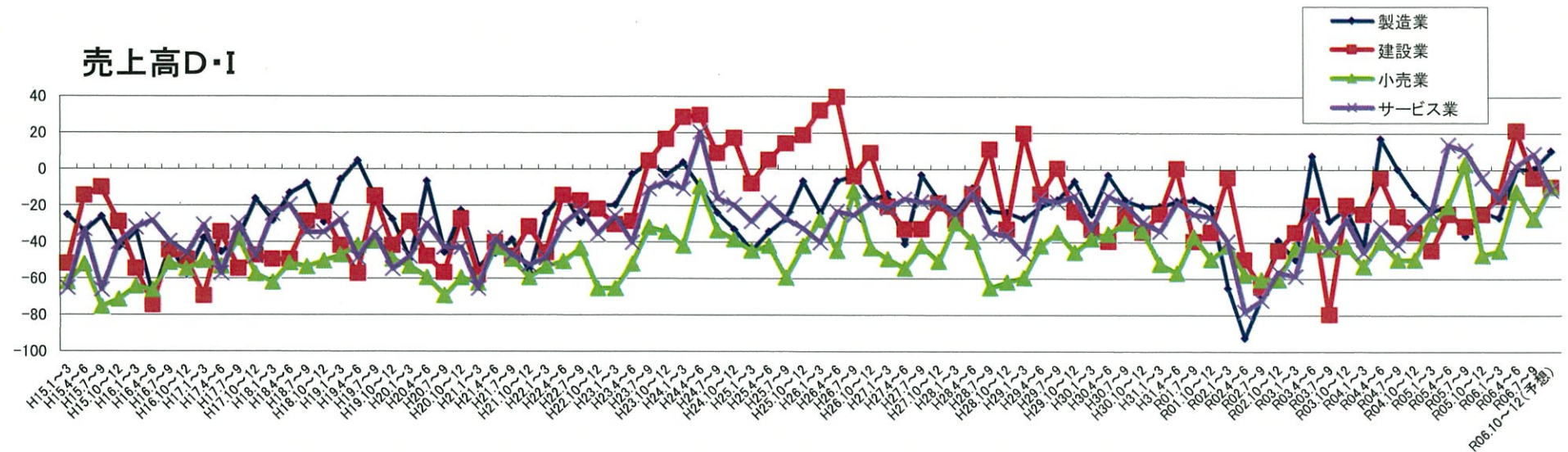
(目盛: %)



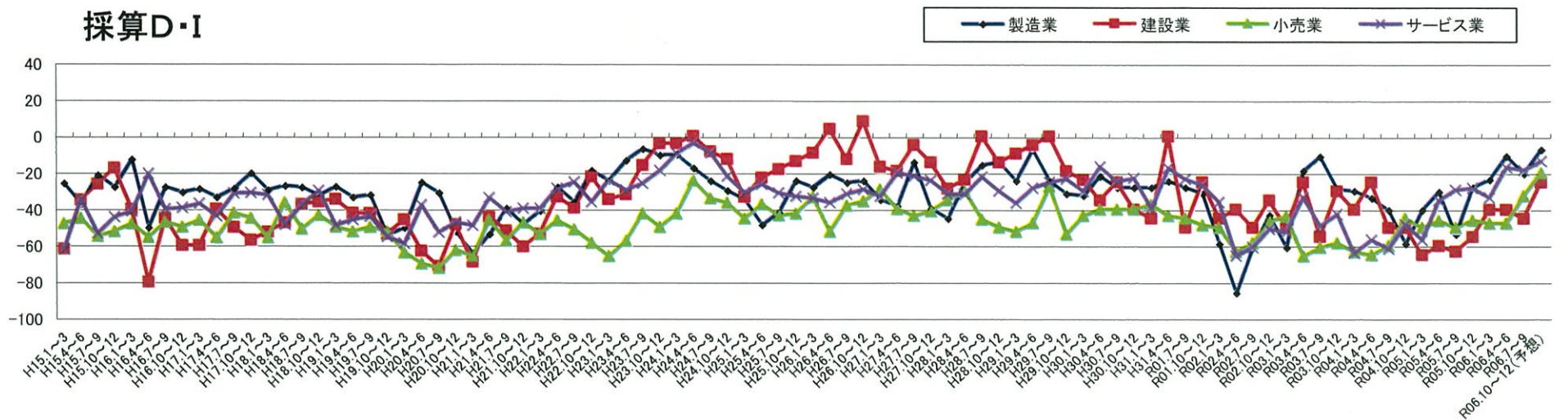


# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

## 売上高D・I



## 採算D・I



# 集 計 資 料





# 調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 二戸市、八幡平市、雫石、矢巾町、前沢  
(商工会名) 金ヶ崎町、山田町、田野畑村、野田村、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 令和6年7月～9月を対象とし、調査時点は令和6年9月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

## 4. 対象企業等内訳

| 業種         | 項目 | 対 象 企 業 数     | 回 答 企 業 数     | 回 答 率 ( % ) |
|------------|----|---------------|---------------|-------------|
| 製造業 (地域産業) |    | 30 ( 20.0 )   | 30 ( 20.0 )   | 100.0       |
| 建設業        |    | 20 ( 13.3 )   | 20 ( 13.3 )   | 100.0       |
| 小売業        |    | 40 ( 26.7 )   | 40 ( 26.7 )   | 100.0       |
| サービス業      |    | 60 ( 40.0 )   | 60 ( 40.0 )   | 100.0       |
|            |    | 150 ( 100.0 ) | 150 ( 100.0 ) | 100.0       |

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものであります。